

## 粟生津出身の牢名主への吉田松陰の獄中詩を展示。

～長善館初代館主鈴木文臺がその詩を解説する書も必見。～

松下村塾を主宰した吉田松陰は「安政の大獄」で幕府に捕えられ、伝馬町の牢屋に投獄されています。その時の牢名主は粟生津出身の僧侶・宥長（ゆうちょう）で、無実の罪で投獄されていました。無実の罪がはれて、宥長が出獄する際に松陰は人柄を称賛する内容の書を獄中で贈っています。弥彦神社所蔵の吉田松陰獄中詩を明日18日から12月4日まで特別展示します。

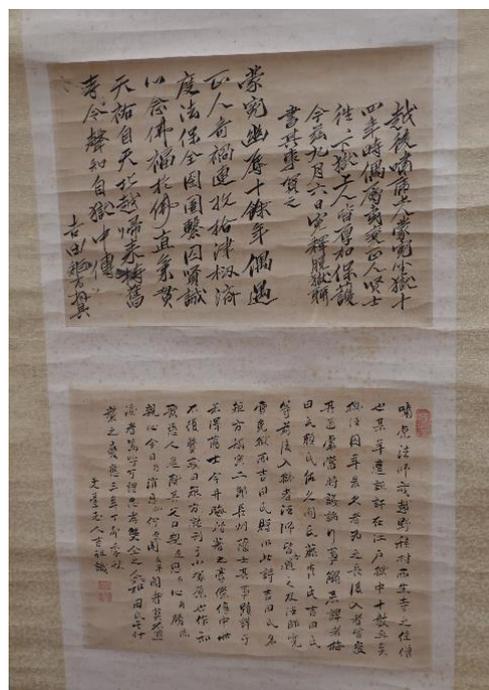
### 【吉田松陰が粟生津出身の僧侶に贈った獄中の詩の特別展の概要】

- 展示品：「吉田松陰が粟生津出身の僧侶に贈った獄中の詩」（安政6年）  
長善館初代館主鈴木文臺のよる獄中の書を解説する書（慶応3年）も同軸に装丁されています。
- 会場：燕市長善館史料館  
（燕市粟生津97番地）  
（電話 0256-93-5400）
- 期間：令和4年10月18日（火）  
～12月4日（日）
- 開館時間：午前9時～午後4時30分
- 休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）
- 入館料：小・中学生、高校生・・・50円  
一般・・・100円

#### 【吉田松陰が粟生津出身の僧侶に贈った獄中の詩】

（上：吉田松陰 獄中の詩）

（下：鈴木文臺 解説の書）



本件に関する問い合わせ  
教育委員会社会教育課：村山  
0256-63-7002